

8 / 13~18 自然の材料で手作り体験
夏休み親子モノづくり教室



作り方を教わりながら手作業でものづくり体験

道の駅「あそ望の郷くぎの」デッキスペースおよび「阿蘇ものづくり学校」(中松)で「夏休み親子モノづくり教室」(ASOものづくりネットワーク主催)が開催されました。

ススキで編むホウキ作りや、木を材料にしたロボット作り、植物を使った草木染めなどの体験メニューがあり、子どもから大人まで参加者たちは実技指導を受けながら自分の作品を作り上げていました。

8/14 両併の夏の風物詩
両併夏まつり



両併小学校児童が踊った「両併にぎやか音頭」

「両併夏まつり」(地元青壮年部・同女性部主催)が行われました。当日は台風の接近が警戒されたため両併小学校体育館を会場として開催。地域住民やお盆で帰省した人などで例年どおりの賑わいを見せました。

ステージでは、両併小学校の児童による「両併子どもにわか」、「両併にぎやか音頭」などが次々と披露されたほか、大人が演じる「仁〇加」(にわか)も会場を沸かせていました。

8/30 熊本大学と村が包括的連携協定を締結
旧立野小学校で協定締結式を開催



協定書を手にする原田学長（右）と吉良村長（左）

熊本地震からの復興のため、熊本大学と村の連携強化を目的とした協定を締結しました。当日は、熊本大学から原田学長、村から吉良村長が出席し、地元の区役員や議員が見守る中、協定書にサインしました。

熊本大学には地震直後から、住民説明会などにおける山の亀裂や地盤変動の調査結果の報告、村の震災遺構の取組や復興計画策定への参画など、被災者の生活再建や集落再生等に大きな支援をいただいてきました。今回の協定締結が村の復興により一層の後押しとなることが期待されます。

また、同日付けで旧立野小学校の教室を活用して「阿蘇サイエンスカフェ」がオープンしました。今後、定期講座の開催等が計画されています。

8/23 地域伝統の祭り
鎮火祭(吉田一区)



「子どもエイサー隊」が増えた「南阿蘇エイサー隊」

西安寺境内に建立された火伏地蔵を祀る「鎮火祭」(吉田一区主催)が開催され、火伏祈願祭の後、白水総合センター2階ホールで本祭が行われました。

本祭では、地元新町青壮年と両併地区青壮年が互いの地区の祭りで交流をしている「仁〇加」(にわか)が演じられ、話の最後の「落ち」に観客からは拍手や笑いが起こりました。ステージでは地元バンド演奏、バルーンアートや村エイサー隊などが会場を盛り上げ、地元有志や女性部などの出店や抽選会などが来場者を楽しませました。